

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 20037

建築物名称	プライム川崎小島新田
建築主	京浜急行電鉄株式会社 取締役社長 川俣 幸宏 京急不動産株式会社 代表取締役 松本 正貴
建築物の所在地	川崎市川崎区江川一丁目12番1
設計者氏名、建築士事務所名	島田 健司 株式会社長谷エコーポレーション 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	8,183.28㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上7階
工事完了年月	令和4年7月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、燃料系潜熱回収瞬間式給湯器
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	燃料系潜熱回収瞬間式給湯器

CASBEE川崎

■使用評価マニュアル: CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト: CASBEE-川崎2017(v.3.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プライム川崎小島新田	階数	地上7F
建設地	神奈川県川崎市川崎区江川一丁目12番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	400人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2022年7月 竣工	評価の実施日	2020年11月25日
敷地面積	3,935 m ²	作成者	長崎知彦
建築面積	1,552 m ²	確認日	2020年11月25日
延床面積	8,183 m ²	確認者	島田健司

外観パース等
パースの公表を希望される場合は
図を貼り付けてください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.0
温熱環境	3.9
光・視環境	3.9
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	4.1
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	2.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	2.5
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮	3.7
地域環境への配慮	3.1
周辺環境への配慮	3.2

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.7
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市景観計画に沿った色彩とした敷地面積に対して緑被率、中高木水平投影面積率の合計が30パーセント以上	2.0/4.3	2.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.0
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	省エネ等級4を取得 バルコニー及び、カーテンレールの設置	5.9/7.5	3.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準に適合している敷地面積に対して緑被率、中高木水平投影面積率の合計が30パーセント以上	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示制度 断熱等性能等級4を取得	3.7/5.0	3.7
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。ODP=0の冷媒を使用している	2.5/4.7	2.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.2
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	住宅の品質確保の促進に関する法律における木材、鉄骨またはコンクリートの評価方法基準で等級3相当	0.3/0.5	3.7
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	2.1/4.0	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	荷捌き用車両の駐車スペースを確保した	0.3/0.4	4.1
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	川崎市緑化指針の基準に適合している敷地に対して緑被率、中高木水平投影面積率の合計が30パーセント以上	0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示制度 断熱等性能等級4を取得	3.7/5.0	3.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.9**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅性能表示制度 断熱等性能等級4を取得	3.7/5.0	3.7

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	G	W	R	H	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質										3.2	
Q1 室内環境							0.40		-	3.6	
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0	
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-		
2 温熱環境						2.6	0.35	4.0	1.00	3.9	
2.1 室温制御						3.0	0.50	4.0	1.00		
1 室温						3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		W			住宅性能表示制度 断熱等性能等級4を取得	3.0	0.38	4.0	1.00		
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境						2.5	0.25	4.0	1.00	3.9	
3.1 昼光利用						2.4	0.30	4.0	0.50		
1 昼光率					エントランス昼光率1.35%、住戸の昼光率にて2.9%を確保	2.0	0.60	5.0	0.50		
2 方位別開口						3.0	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備		W				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策						2.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		W			庇、カーテンボックスの二種類を組み合わせで計画している	2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度						3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境						3.0	0.25	3.6	1.00	3.5	
4.1 発生源対策						3.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質					全体的にF☆☆☆☆を使用している	3.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理						-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-		
2 喫煙の制御						-	-	-	-		

Q2 サービス性能					0.30	-	-	3.3	
1 機能性					3.0	0.40	4.2	1.00	4.1
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性			インターネット用にGbitクラスのブロードバンド利用可能	3.0	-	3.0	-	
2	高度情報通信設備対応				3.0	-	5.0	1.00	
3	バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	3.0	0.40	
1	広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3	内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2	免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.7	0.30	-	-	
1	躯体材料の耐用年数	R		住宅性能表示制度、構造躯体劣化等級3を取得	5.0	0.20	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R			2.0	0.20	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R		フローリングとビニールクロスの耐用年数は、16年以上25年未満のものを採用している	4.0	0.10	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R			3.0	0.10	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R		汚水・雑排水(衛生)に給排水用铸铁管(耐用年数60年以上)を使用する	5.0	0.20	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.6	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	2.5	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり					-	-	2.0	0.50	
1	階高のゆとり				1.0	-	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				3.0	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出				G	W		H		1.0
2 まちなみ・景観への配慮				G					3.0
3 地域性・アメニティへの配慮									3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上									3.0
3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H		3.0

20037

プライム川崎小島新田

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出る
ことになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に
基づいています。